学校番号	１００１

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・アイデアを考えたり制作を進めやすいよう教室内の環境整備に努め、授業を受ける心構えや態度を学びましょう。
・適切に形や色を捉えて作品作りに活かしましょう。
・用具の使い方や素材の使用について学び、表現力を伸ばしましょう。
・作品の講評会や展覧会鑑賞レポート作成を通して鑑賞学習をしましょう。

２　学習の到達目標

・多様な作品制作で美的感性を高め、創造的な表現力を高める。
・製作や鑑賞を通して美的体験を豊富にし、生涯にわたり美術を愛好する心を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	製作の様子 ワークシート 作品	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品と完成作品	制作途中の作品と完成作品	鑑賞のようす 提出レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	オリエンテーション	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・授業を受けるにあたっての心得と教科書の鑑賞 ・プリント課題(イラストによる自己紹介、嫌いな色に合わせる色)	○	○	○		a:美術作品や表現に興味を持ち授業を受けることに意欲が感じられる b:プリント課題を自分なりに把握し鑑賞者に対して伝えたいアイデアを練っている c:アイデアが伝わるような構成や配色をしている	学習活動の様子 制作途中の作品 提出作品
1	色彩構成	【デザイン】【表現】 ・二つの言葉のイメージをモティーフに、対照的な表現を課題とする色彩構成 ・音楽を聞いて曲のイメージをモティーフに色彩構成 ※オートマティックパターンの技法を用いて作った色紙を構成に合わせて貼りあわせる	○	○	○		a:言葉や音楽から受けるイメージに関心を持ち、構成や配色に変換することに喜びを持つ b:言葉の意味の対照性や音楽のイメージを表現しようと考えを至らせて構想を練っている c:課題の意図を理解した上で丁寧な着色、貼り合わせる工夫など表現を前向きに取り組んでいる	学習活動の様子 制作途中の作品 提出作品
2	鑑賞	【鑑賞】8月に行われる高校展に行き鑑賞レポートを提出				○	d:多くの高校生の作品に触れ様々な表現方法や意図を考え自分の意見を持ち表現する	鑑賞レポート
2	立体	【表現】【立体】 ・張り子の石を制作 水彩絵の具で着色する	○	○	○		a:薄い和紙による立体作品づくりに興味をもって主体的に取り組む b:与えられた石の中からどの石を自分のモティーフとして選ぶかをしっかり考えて自然の石の形態や色合いの美しさを知る c:和紙の重ね貼りや石抜き作業など細かな作業の連続を丁寧な気持ちと手作業で乗り切る 自然の色合いを様々な技法を駆使して表現する	学習活動の様子 制作途中の作品 提出作品

3	木版画	【絵画･彫刻】 ･木の葉(落ち葉を含む)で画面構成を考え、一版多色刷りで木版画を制作	○	○	○		a:木版画の美しい発色に興味を持って制作に取り組む b:葉っぱの形や大きさ色合いなどの要素を踏まえて画面構成を考える c:丁寧な線彫りや重ね刷りの美しさを理解し制作にあたる	学習活動の様子 制作途中の作品 提出作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。